



学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール kanai-es@sado.ed.jp

佐渡市立金井小学校 平成29年7月25日 第5号

自分を成長させる夏休みに

校長 羽二生 裕

1年生の育てているアサガオの蔓が私の腰を超え、淡い紫やピンクの花を咲かせています。子どもたちの楽しみにしている夏休みが始まります。

7月の全校朝会では、私自身が子どもたちに時間を大切に使うとお願いがあり、「時間」についての話をしました。以下のような内容でした。

①時計の針がどうして右回りになったのか？

②誰にも同じように一日＝24時間という時間があること（意識化、どう使うか）

③1秒という時間はどんな時間だろうか？また、私たちは、その1秒をどんなふうに学校生活の中で使えばいいか、子どもたちに考えさせました。

実は、1秒という時間（目をつぶってパット開けた時間）は、すごい時間であること。例えば、私たちの住んでいる地球は、1秒で30km進む速さで太陽の周りを回っていること。また、光は1秒間に私たちの住んでいる地球（約4万km）を、7周半するという事などを話しました。

そして、私たちも「この1秒間に何ができるだろうか？」というと、実は「すごいこと」ができます。それは1秒で「ありがとう」が言えます。「ありがとう」と言われると、心の底から嬉しくなります。また「頑張って!」と言われると「よし、頑張るぞ!」という気持ちになります。また「おめでとう」と言われると、心の中が温かくなり嬉しくなります。さあ、皆さん、1学期も残り少なくなりました。「自分の時間を大切に使う」とともに、「ありがとう」「頑張るって!」「おめでとう」の3つの「魔法の言葉」をいっぱい使って、この7月を元気に、仲よく、楽しく過ごしていきましょうという話をしました。

さて、今将棋ブームとなっています。プロ棋士の藤井聡太四段（14歳）は、小学校4年生頃から自然と普通の新聞を読むようになったそうです。藤井少年によると「紙の新聞には、様々なニュースが隣り合わせに載っていて、どれが大事なのかを自然と考えるようになった。将棋の手を読む時も、局面のどこが急所なのかを見極めることが大切です。新聞や将棋には同じようなことが言えます。」という記事がありました。新聞も漢字が読める、読めないというよりも、字の大きさや写真、表やグラフ、記事の構成などから大事なポイントを読み取る（見抜く）ことが、大切なのかも知れません。



金井っ子チャレンジ祭り

もうすぐ夏休みが始まります。子どもたちに『早寝、早起き、朝ご飯』の習慣を身に付けさせるチャンスです。朝のラジオ体操、朝食の準備、そして涼しい午前中に学習を済ませるなどの習慣を子どもが身に付けると、それらの力が必ず2学期に発揮されます。何事においても少しずつ努力を続けていく子どもを、この夏休みに家庭で育てていきたいものです。

子どもたちが、34日間の夏休みを事故やケガなく健康で過ごし、2学期の始業式では343名の子どもたちが「たくましく成長した姿」を見せてくれることを期待しています。4月からの74日間の1学期を無事に終えることができました。保護者の皆様や地域の皆様のこの一学期間の御支援・御協力に心から感謝申し上げます。